【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成17年7月14日(2005.7.14)

【公開番号】特開2000-61034(P2000-61034A)
【公開日】平成12年2月29日(2000.2.29)
【出願番号】特願平10-233025
【国際特許分類第７版】
　Ａ６３Ｆ　5/04
【ＦＩ】
　Ａ６３Ｆ　5/04　５１２Ｅ
　Ａ６３Ｆ　5/04　５１６Ｆ

【手続補正書】
【提出日】平成16年11月15日(2004.11.15)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
　表示状態が変化可能な可変表示装置を有し、該可変表示装置の表示結果が導出表示されることにより１ゲームが終了し、該可変表示装置の表示結果が予め定められた特別の表示態様となった場合に遊技者にとって有利な特別遊技状態に制御可能となるスロットマシンであって、
　前記可変表示装置を可変開始させた後表示結果を導出表示させる制御が可能な可変表示制御手段と、
　前記可変表示装置の表示結果が前記特別の表示態様となることを許容するか否かを決定可能な表示態様決定手段と、
　該表示態様決定手段で許容する旨の決定がされたにもかかわらず前記可変表示装置の表示結果が前記特別の表示態様とならなかった場合に、前記表示態様決定手段の決定結果を維持して少なくとも次回のゲームに当該決定結果を反映させることが可能な決定結果維持手段と、
　前記表示態様決定手段で前記特別の表示態様となることを許容する旨の決定がされていることに基づいて、ゲームの進行を停止させるゲーム進行停止手段と、
　該ゲーム進行停止手段によりゲームの進行が停止されている間に、前記表示態様決定手段で許容する旨の決定がされていることを所定の態様で遊技者に報知可能な報知手段とを含むことを特徴とする、スロットマシン。
【請求項２】
　遊技者所有の有価価値と引換えにしてゲームの賭数を設定可能な賭数設定手段をさらに含み、
　前記ゲーム進行停止手段は、前記賭数設定手段を不能動化することによってゲームの進行を停止させることを特徴とする、請求項１に記載のスロットマシン。
【請求項３】
　前記ゲーム進行停止手段は、前記可変表示制御手段が前記可変表示装置を可変開始させるための制御動作を不能動化することによってゲームの進行を停止させることを特徴とする、請求項１に記載のスロットマシン。
【請求項４】
　遊技者が操作することにより前記可変表示装置の表示結果を導出表示させることが可能

な導出表示操作手段をさらに含み、
前記ゲーム進行停止手段は、前記導出表示操作手段の操作を不能動化することによってゲームの進行を停止させることを特徴とする、請求項１に記載のスロットマシン。
【請求項５】
前記スロットマシンは、前記可変表示装置の表示結果が予め定められた第１の特別の表示態様となった場合に遊技者にとって有利な第１の特別遊技状態に制御可能となり、前記可変表示装置の表示結果が予め定められた第２の特別の表示態様となった場合に前記第１の特別遊技状態よりも有利な程度の高い第２の特別遊技状態に制御可能となり、
前記表示態様決定手段は、前記可変表示装置の表示結果が前記第１の特別の表示態様となることを許容するか否かと、前記第２の特別の表示態様となることを許容するか否かとを決定可能であり、
前記報知手段は、前記表示態様決定手段により前記第１の特別の表示態様となることが許容された場合と前記第２の特別の表示態様となることが許容された場合とで異なる態様によりその旨を報知可能であることを特徴とする、請求項１に記載のスロットマシン。
【請求項６】
前記報知手段は、前記表示態様決定手段で許容する旨の決定がされたことを報知した後に前記第１の特別の表示態様となることが許容されたのか前記第２の特別の表示態様となることが許容されたのかを報知する段階報知が可能であることを特徴とする、請求項５に記載のスロットマシン。
【請求項７】
前記報知手段は、前記表示態様決定手段で許容する旨の決定がされたゲームの終了後に前記決定結果維持手段により維持されている前記表示態様決定手段の決定結果を報知することを特徴とする、請求項１または請求項５に記載のスロットマシン。
【請求項８】
前記報知手段は、前記決定結果維持手段により前記表示態様決定手段の決定結果が維持されたことに対応して１度だけ前記段階報知をすることを特徴とする、請求項６に記載のスロットマシン。
【請求項９】
前記報知手段は、前記所定の態様で前記報知を行なった後前記可変表示装置の表示結果が前記特別の表示態様となるまでの間、前記決定結果維持手段により前記表示態様決定手段の決定結果が維持されている旨を継続して報知可能であることを特徴とする、請求項１に記載のスロットマシン。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００７】
【課題を解決するための手段】
請求項１に記載の本発明は、表示状態が変化可能な可変表示装置を有し、該可変表示装置の表示結果が導出表示されることにより１ゲームが終了し、該可変表示装置の表示結果が予め定められた特別の表示態様となった場合に遊技者にとって有利な特別遊技状態に制御可能となるスロットマシンであって、
前記可変表示装置を可変開始させた後表示結果を導出表示させる制御が可能な可変表示制御手段と、
前記可変表示装置の表示結果が前記特別の表示態様となることを許容するか否かを決定可能な表示態様決定手段と、
該表示態様決定手段で許容する旨の決定がされたにもかかわらず前記可変表示装置の表示結果が前記特別の表示態様とならなかった場合に、前記表示態様決定手段の決定結果を維持して少なくとも次回のゲームに当該決定結果を反映させることが可能な決定結果維持

手段と、
前記表示態様決定手段で前記特別の表示態様となることを許容する旨の決定がされていることに基づいて、ゲームの進行を停止させるゲーム進行停止手段と、
該ゲーム進行停止手段によりゲームの進行が停止されている間に、前記表示態様決定手段で許容する旨の決定がされていることを所定の態様で遊技者に報知可能な報知手段とを含むことを特徴とする。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００８】
請求項２に記載の本発明は、請求項１に記載の発明の構成に加えて、遊技者所有の有価価値と引換えにしてゲームの賭数を設定可能な賭数設定手段をさらに含み、
前記ゲーム進行停止手段は、前記賭数設定手段を不能動化することによってゲームの進行を停止させることを特徴とする。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００９】
請求項３に記載の本発明は、請求項１に記載の発明の構成に加えて、前記ゲーム進行停止手段は、前記可変表示制御手段が前記可変表示装置を可変開始させるための制御動作を不能動化することによってゲームの進行を停止させることを特徴とする。
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１０】
請求項４に記載の本発明は、請求項１に記載の発明の構成に加えて、遊技者が操作することにより前記可変表示装置の表示結果を導出表示させることが可能な導出表示操作手段をさらに含み、
前記ゲーム進行停止手段は、前記導出表示操作手段の操作を不能動化することによってゲームの進行を停止させることを特徴とする。
【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１６】
【作用】
請求項１に記載の本発明によれば、可変表示制御手段の働きにより、前記可変表示装置が可変開始した後表示結果が導出表示される。表示態様決定手段の働きにより、前記可変表示装置の表示結果が前記特別の表示態様となることを許容するか否かが決定される。決定結果維持手段の働きにより、表示態様決定手段で許容する旨の決定がされたにもかかわらず前記可変表示装置の表示結果が前記特別の表示態様とならなかった場合に、前記表示態様決定手段の決定結果が維持されて少なくとも次回のゲームに当該決定結果が反映される。ゲーム進行停止手段の働きにより、前記表示態様決定手段で前記特別の表示態様とな

ることを許容する旨の決定がされていることに基づいて、ゲームの進行が停止される。報知手段の働きにより、ゲーム進行停止手段によりゲームの進行が停止されている間に、前記表示態様決定手段で許容する旨の決定がされていることが所定の態様で遊技者に報知される。

【手続補正７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１７】
請求項２に記載の本発明によれば、請求項１に記載の発明の作用に加えて、賭数設定手段の働きにより、遊技者所有の有価価値と引換えにしてゲームの賭数が設定される。前記ゲーム進行停止手段の働きにより、前記賭数設定手段が不能動化され、ゲームの進行が停止する。
【手続補正８】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１８】
請求項３に記載の本発明によれば、請求項１に記載の発明の作用に加えて、前記ゲーム進行停止手段の働きにより、前記可変表示制御手段が前記可変表示装置を可変開始させるための制御動作が不能動化され、ゲームの進行が停止する。
【手続補正９】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１９】
請求項４に記載の本発明によれば、請求項１に記載の発明の作用に加えて、遊技者は、導出表示操作手段を操作することにより前記可変表示装置の表示結果を導出表示させることが可能となる。前記ゲーム進行停止手段の働きにより、前記導出表示操作手段の操作が不能動化され、ゲームの進行が停止する。
【手続補正１０】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０２５１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０２５１】
【課題を解決するための手段の具体例の効果】
請求項１に関しては、ゲームの進行が停止されている間に、表示態様決定手段で許容する旨の決定がされていることが所定の態様で報知されるために、報知に気づかずにゲームを進行させてしまうことにより遊技者に不利益が発生してしまうことを極力防止できる。
【手続補正１１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０２５２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０２５２】
請求項２に関しては、請求項１に関する効果に加えて、賭数設定手段が不能動化される

ことによってゲームの進行が停止され、その間に前記報知がされるために、遊技者は報知内容を認識した上でゲーム状況に応じた適切な賭数を設定可能となる。

【手続補正１２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０２５３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０２５３】
請求項３に関しては、請求項１に関する効果に加えて、可変表示装置を可変開始させるための制御動作が不能動化されることによってゲームの進行が停止され、その間に前記報知がされるために、遊技者は報知手段の報知に注意を向けることができるようになる。

【手続補正１３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０２５４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０２５４】
請求項４に関しては、請求項１に関する効果に加えて、導出表示操作手段の操作が不能動化され、その間に前記報知がされるために、遊技者は報知内容を認識した上でより慎重に目押し操作を行なうことが可能となる。